



計算のしかた

計算をはじめる前に(ON/AC)を押して、表示が0であることを確認してから計算をはじめてください。

計算例	キー操作	表示(答)
■加減乗除算		
72×43+324−210=3210	72 $\times$ 43 $+$ 324 $-$ 210 $=$	3'210.
■定数計算		
294×8.4=2469.6 294×6.6=1940.4	294 $\times$ 8.4 $=$ 6.6 $=$ (被乗数が定数となります)	2'469.6 1'940.4
90÷3=30 36÷3=12	90 $\div$ 3 $=$ 36 $=$ (除数が定数となります)	30. 12.
■パーセント計算		
割合:3,000の5%は?	3000 $\times$ 5 $\%$	150.
比率:5は200の何%?	5 $\div$ 200 $\%$	2.5
割増:6,500の15%増は?	6500 $+$ 15 $\%$	7'475.
割引:7,600の25%引きは?	7600 $-$ 25 $\%$	5'700.
■べき乗計算		
(4 <sup>3</sup> ) <sup>2</sup> =4 <sup>6</sup> =4096	4 $\times$ $=$ $=$ $\times$ $=$	4'096.
■逆数計算		
$\frac{8}{5+7}$ =0.6666……	5 $+$ 7 $\div$ $=$ 8 $=$	0.0833333 0.6666666
■開閉計算		
$\sqrt{7\times 8}+\sqrt{9}=10.483314\cdots$	7 $\times$ 8 $=$ $\sqrt{\phantom{x}}$ $+$ 9 $\sqrt{\phantom{x}}$ $=$	10.483314
■メモリー計算		
"M"が表示されているときは計算をはじめる前に $\overline{\text{MRC}}$ 、および (ON/AC) を押してメモリークリアしてください。 100×5+50×3=650	100 $\times$ 5 $\overline{\text{M+}}$ 50 $\times$ 3 $\overline{\text{M+}}$ $\overline{\text{MRC}}$	M 500. M 150. M 650.
5×4−3×2=14	5 $\times$ 4 $\overline{\text{M+}}$ 3 $\times$ 2 $\overline{\text{M-}}$ $\overline{\text{MRC}}$	M 20. M 6. M 14.
(84−13×2)×(527−135) =22736	84 $\overline{\text{M+}}$ 13 $\times$ 2 $\overline{\text{M-}}$ 527 $-$ 135 $\times$ $\overline{\text{MRC}}$ $=$	M 26. M 22'736.

計算例	キー操作	表示(答)															
■応用計算																	
A、B、C店の売上構成比を求めます。 <table><tr><td>店名</td><td>売上(万円)</td><td>構成比(%)</td></tr><tr><td>A</td><td>580</td><td>(23.2)</td></tr><tr><td>B</td><td>870</td><td>(34.8)</td></tr><tr><td>C</td><td>1050</td><td>(42.0)</td></tr><tr><td>合計</td><td>(2,500)</td><td>100</td></tr></table>	店名	売上(万円)	構成比(%)	A	580	(23.2)	B	870	(34.8)	C	1050	(42.0)	合計	(2,500)	100	580 $+$ 870 $+$ 1050 $\div$ $=$ 580 $\%$ $\overline{\text{M+}}$ 870 $\%$ $\overline{\text{M+}}$ 1050 $\%$ $\overline{\text{M+}}$ $\overline{\text{MRC}}$	2'500. M 23.2 M 34.8 M 42. M 100.
店名	売上(万円)	構成比(%)															
A	580	(23.2)															
B	870	(34.8)															
C	1050	(42.0)															
合計	(2,500)	100															
■(UNDO(アンドゥ)キー「元に戻す」・REDO(リドゥ)キー「やり直し」の使いかた																	
計算例1																	
(UNDO)キーで直前の入力数式を3回前まで呼び戻すことができます。 (REDO)キーで(UNDO)キーで操作を戻す前の数式に3回まで戻すことができます。 ※(REDO)キーは、一度でも(UNDO)キーを実行しないと有効になりません。																	
740−390÷25=14	740 $-$ 390 $\div$ 25 $=$ (UNDO) (UNDO) (UNDO) (REDO) (REDO) (REDO)	$=$ 14. ( $\div$ 25. (1つ前に入力した数式に戻ります) ( $-$ 390. (2つ前に入力した数式に戻ります) 740. (3つ前に入力した数式に戻ります) ( $-$ 390. ((で操作を戻す1つ前に戻ります) ( $\div$ 25. ((で操作を戻す2つ前に戻ります) $=$ 14. ((で操作を戻す3つ前に戻ります)															
計算例2																	
計算途中または計算終了後、(UNDO)キーで前の数式を呼び戻し、入力数値の入れ替えをすることができます(3回前まで)。																	
249+320×56−70=31794 ↓ +330×56−70=32354	249 $+$ 320 $\times$ 56 $-$ 70 $=$ (UNDO) (UNDO) (UNDO) $+$ 330 $\times$ 56 $-$ 70 $=$ 32354	$=$ 31'794. ( $-$ 70. (1つ前に入力した数式に戻ります) ( $\times$ 56. (2つ前に入力した数式に戻ります) ( $+$ 320. (3つ前に入力した数式に戻ります) $+$ 330. (訂正したいところから計算を続行します) $\times$ 56. $-$ 70. $=$ 32'354.															
計算例3																	
計算終了後、(ON/AC)キーを押したときや電源が切れたとき、すべて消去(オールクリア)されますが、(UNDO)キーを押して直前の計算結果・入力数式を3回前まで呼び戻すことができます。 482×198÷30=3181.2 → (ON/AC)キーで0に…。 → (UNDO)キーで直前の計算結果に戻ることができます。																	
	482 $\times$ 198 $\div$ 30 $=$ (ON/AC) (UNDO) (UNDO) (UNDO)	$=$ 3'181.2 0. (オールクリアされます) $=$ 3'181.2 (直前の計算結果に戻ります) ( $\div$ 30. (2つ前に入力した数式に戻ります) ( $\times$ 198. (3つ前に入力した数式に戻ります)															
ワンポイント																	
①(UNDO/REDO)操作はそれぞれ3回までです。 (UNDO/REDO)操作直後に(ON/AC)を押したときや電源が切れた場合は、残りの回数分のみ(UNDO)キーで戻ることができます。 例) 計算途中に(UNDO)キーで2回戻って(ON/AC)を押した場合、(ON/AC)を押す直前から1回のみ戻ることができます。 注) (UNDO)キーで3回戻ったあとに(ON/AC)を押した場合、(UNDO)キーを押しても元に戻ることはできません(無効になります)。 ②(REDO)キーは、一度でも(UNDO)キーを実行しないと有効になりません。 ③ 計算終了後(=を押した後)、(ON/AC)を押した場合、(UNDO)を1回押して計算結果に戻り、2回、3回押して入力数式に戻ります。 ④ 計算途中で(ON/AC)を押した場合は、(UNDO)を1回押して直前の数式に戻り、2回、3回押して2つ前、3つ前の入力数式と続きます。																	